

国保税値上げ中止署名始まる!

伊那民報

発行：日本共産党伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
HP：jep上伊那

暮らしを壊す一人平均1万2000円もの値上げ

伊那市が示した新年度からの国保税18・67%（一人平均約1万2000円）の引き上げを中止させるため、伊那市国保問題を考える会（会長・鈴木正巳さん）は、市議会への陳情署名活動を始めました。

市民から悲痛な声

国保税値上げ中止署名と共に、多くの方から切実な声が寄せられています。

「えー。また値上げですか。ちゃんとした仕事にもつけていないのに、税金ばかり取り立てるのはおかしい。やめてもらいたい」

（30代男性）

「消費税を上げられて、食費を切りつめやとやつてるのに、国保税の値上げでは、暮らしがなりたない。署名が役に立つように知り合いからも集めます」

（60代女性）

「大企業が儲けているとテレビで言ってるのに、市民や中小業者

署名用紙は？

伊那市国保問題を考える会の連絡先は、上伊那民主商工会（Tel72-0550 Fax72-0798）です。

なお、共産党伊那市委員会も全面的に協力していますので、署名用紙がお手元にない場合は、共産党の市議、またはお近くの党員か党伊那市委員会までご連絡ください。

また、記入された用紙についても、ご連絡いただければ取りに伺います。

陳情は、市の3月議会に署名を添えて提出し、3月17日の社会委員会、20日の本会議で審議されます。



伊那市国保問題を考える会は、「政府は、消費税を10%に引き上げて、国保会計の補助に1700

市民の声 署名を集め負担軽減へ

からはしっかりと税金をとる。市議の皆さんには、市民の目線で力を尽くしてもらいたいよ」

（50代自営業者）

億円を回す、他の保険の負担を増やして浮いた国費1700億円も国保に回すと言っているが、全国の国保の赤字は3500億円を超えている。消費税を上げても、国が国保の負担割合を増やさないと、国保税は上がり続ける」

「したがって、国保会計への国の負担を増やす運動とともに、伊那市に対して、一般会計からの繰入を増やして引き上げ中止を求め署名を集めることが重要です。署名は3月15日を目途にお願いします」と呼びかけています。



いなっせ6階での署名活動

地蜂

「寒波来る山脈玻璃（はり）の如く澄む」（内藤吐天）今年の冬は年末から何回も雪が降り、強い寒波にも見舞われた。しかし、冬晴れの日の山なみは見事なまでに美しい。午後の日差しに映えて茜色に染まる仙丈岳の稜線は神々しいばかり▼「麦踏んで今なお土に親しめり」（高杉千代子）麦踏みは冬から早春にかけての農作業だが、今は全く見られなくなった。その麦が朝のテレビ小説「マッサン」の背景になっていて、視聴率が20%を超えるほど高く、ウイスキーの人気も上々とか▼「いぬふぐり貧しきもの胸ひらく」（水谷春光）冬枯れの野にいち早く芽を伸ばし青みを増してくるのがイヌフグリなどの雑草たち。田畑や庭では球根が存在だが、いくら草取りしても次から次へと萌え広がるその生命力のたくましさには驚くばかり▼「雑草（あらぐさ）のたくましさ、踏まれても伸び広がって……」どんなに踏みつけられてもまた立ち上がって闘う民衆の姿は、「わが母の歌」（森田ヤエ子詞、荒木栄典）に歌われている。古今東西、常に民衆の力が歴史をゆり動かしてきた▼「雑草は私たち、闘いに深く根ざして……」四月の一斉地方選挙が近づいている。史上最悪の安倍暴走政権のもとで、衆議院選挙に続く共産党の躍進を期して、萌え広がる雑草の底力を示すときは今だ。

(M・W)

TPP参加反対 米価の大暴落ストップ 農業問題学習会開かる

2月18日、米価の大暴落や安倍内閣の農協改革を受けて「これからの希望ある農業の展望を語る」と題して、日本共産党の有坂哲夫農林・漁民局長を招いた学習会が、民主会館で行われ30人余が参加しました。

有坂哲夫さんは、①総選挙での躍進で、議案提案権を獲得、空白だった衆議院の農林水産委員会に2人の委員を送り、米価暴落など国の責任を追及できるようになった。②安倍内閣の農業政策は、農業にも企業を参入させ、中小農家を締め出し、地域社会を荒廃させ、「地域創生」とは逆行するもの。③家族経営と地域での共同は、食料・農業・農村発展に欠かせない。

たたか
つてこ
そ展望
は開け
る。一
点共闘
の重層
的發展
で国民
のくら
しを守る力を強める。一斉地方選



有坂さん(中央)の話に耳を傾ける参加者のみなさん

で勝利し、政治転換の力を強め、躍進の波をさらに広げることが呼びかけました。

これに参加者からは、

「農業への国の予算を、もっと、増やさせる事が大事」「JA・農協を政府が壊すとはおどろき」、日本の農業を守っていくには「農民連の活動と役割が大事」、政府の政策に対して、農業と地域を守るには、一点での共同のとりくみが大切」などの意見が出され、内容を深め合いました。

今の時点では、作れば赤字が増えるだけなので、作らないか、仲間と共同で、経費を削減しながら

「消費税5%にもどせ」

各界連が行動

「消費税を5%にもどせ」と毎月署名行動を続けている上伊那地区各界連絡会は、2月22日午後11時、市内のホワイエで行動。多数の署名を集めました。



署名に応じる市民(左)

地域公共交通200円バス 実現に向け学習会実施

昨年4月の市議選で公約した200円バス実現に向けて、20日市内で、学習会を行いました。高齢化が進み、買い物、通院、文化的行事への参加も困難になっています。学習会では、「いつでも乗れる、どこでも行ける」人権を保障した「交通権」は、自治体が果たす責務だということとを学びました。

伊那市でも公共交通協議会が改善に向けた取り組み

を始めていることも学び、長谷住民の「伊那の中心地まで800円もかかる。町中は150円でもどこまでも乗れる。是正してほしい」という声など、市民の悩みや要求を聞き、政策・公約実現に向けて持続的に活動していくことを確認しました。



柳川ひろみ・飯島光豊市議後援会で

新春のつどい

ら作るしか方法がないとの、参加者からのアドバイスもありました。なお、日本共産党長野県委員会は、農林水産業を県の経済の柱に位置付け、農家・農村の声が生かされる農政へ「4つの提案」を示して、統一地方選をたたかっています。



飯島光豊後援会「ダメよ〜ダメダメ アベノミクス」の横断幕はあちこちで活躍

多数の後援会員さんの参加を得て、昨年の市議選や総選挙のお礼を述べ、市政の報告、新年にあたっての決意を話した後、みんな和やかに歓談しました。

会員さんのかくし芸などの披露もあって、楽しい中にも安倍暴走政治とのたたかいへの決意みながる集いとなりました。

釜石・大槌支援チャリティ あるみかんコンサート大盛況

2月22日、いなっせ6階ホールで行われたコンサートには、およそ300人の人が駆けつけました。

笛とハーブの夫婦デュオ「あるみかん」は、「コンドルは飛んでいく」他8曲の演奏と、「オサルのバンド 名曲メドレー」と銘打った、お山の10匹のお猿の人形が、いろいろな楽器を演奏するユニークで楽しいパフォーマンスを披露しました。

LL OVERCOME」など5曲を歌ってコンサートを盛り上げました。

参加者からは、「元気をもらいました。できる支援を続けたい」(70代男性)や「車で11時間の道のりを一年に3回、しかも毎年続けていることに感銘を受けました。」(60代女性)などの感想が聞かれました。

また、共演のうたごえサークル「うたごむし」は、「WE SHA

開演前のホワイエでは、震災支援物資の販売や支援の写真展、「お茶っこ」なども行われ、賑わ



自己実現と自己主張

前沢けい子

若い方から仕事の相談を受ける。解雇されそうだがどうしたら良いかという相談、パワハラで泣く泣くやめざるを得ないという相談、いづれも非正規雇用です。事情を聴くと労働環境が恐ろしく悪くなっているのがわかる。交通費が支給されない、人格を否定す

るような言葉や暴力、過重労働。そのような事態に遭遇して、戸惑っている。自己実現を模索しながらも、自己主張ができない。たたかわない理由を見つけている。私は党の戦前からの歴史を話し、聞いた。人間としての尊厳を守るためにあなたは今何をすることのかと。

いました。
なお、コンサートの収益金は、被災地支援に使われます。



オサルの人形を使ったパフォーマンス

続きます。シール投票

新婦人伊那支部

子。会員の戦争体験を聞きチラシを受け取る子。
新鮮な体験だった。(Y・O)

2月23日、8回目のシール投票は、集団的自衛権行使となったら直接的な犠牲者になる若者に訊こうと高校生の多い伊那北駅前で行った。結果は、反対39、賛成1、判らない10。避けるように歩く彼らも、こちらがアタックするとはにかみながら立ち止まる。「俺、戦争なんか行きたくねえよ!」とシールを貼る



戦争遺品の収集に協力を

建石繁明

「負の遺産を残してくれるな」と私の長男が言います。「負の遺産」とは、借金のことか?私のコレクション(カメラ一万五千台、数万冊の本、そして世間の人々が不用の物として廃棄して私が拾った諸々の品々)のことか?

敗戦後70年を歴史の通過点として、戦時下の遺品を後世に遺すチャンスはタイムリミットではないかと考えて、本紙の前号と他の新聞などに思いを載せました。遺品収集の窓口も組織も出ていないのに見切り発車ではないかとの批判も聞かれます。

伊那市の「非核平和都市宣言をさらにすすめる伊那市民の会」(運営委員長・連絡先共・建石繁明 73-3229)が、遺品収集の窓口として適当と思ひ、この方向での組織づくりを始めています。実動部隊や手続きの方法も、目処が付きつつあります。

2月17日の長野日報のトップ記事として、取り組みの状況が載りましたので、記事を見たとの電話があり、「開戦から敗戦までの信濃毎日新聞を、全部持っているから、利用可能ならば提供したい」との連絡がありました。他にも「戦時中の戦意高揚に關連するようなことが、日記に書かれているが、このようなものはだめですか?」など3件の問い合わせの電話がありました。「日記は、戦時下の状況や、思ったこと考えたことを、当然ながら書くものからネ」と私。

これはダメ、あれもダメではなくて、ガイドラインなどは設けずに、「読ませて戴きます」と答えています。

随想

近頃想うこと

美篤

上柳ひさみ

窓の向こうの雪を眺めながら、寒い農閑期をじっと過ごして居ります。

テレビを見ていると、落ち着いて居られないような凶悪な事件が連日のように報じられる。子供やお年寄りが犠牲になったり、無差別に誰もが被害者になってしまう危険すら感じます。だんだん、若者の心がすさんできているような気がします。

私たち大人の責任と、人間関係の疎通や何かが足りないのかなと考えてしまいます。

先日、テレビでフィンランド国の一端を見ました。社会保障が充実しているため、生活や教育、老後も安心。とにかく明るく、うらやましい限りです。若者の犯罪等はないと思います。

今春二月も終わってしまふ。

福寿草も健気に咲いている。

陽さしも少しづつ強くなってきました。

自然の力に押されて

今年も重い腰を上げて頑張ります。



佳し案内

☆第11回伊那夜の街オリエンテーリング
3月4日(水) 午後6時受付開始
7時スタート

伊那市セントラルパーク
参加券3000円(当日券なし)
連絡先 上伊那民主商工会(72-0550)

☆さよなら原発集会&パレード
3.11福島原発事故から丸4年
3月8日(日) 11時~12時半
いなっせ北側広場
主催 さよなら原発上伊那の会
連絡先 医療生協組合員センター(79-8702)

☆原発と憲法を考える集い
「ビキニからふくしまが見える」
写真家 島田興生氏のスライドトーク
3月8日(日) 午後1時~3時半
伊那図書館 視聴覚室 協力費300円
連絡先 久保田(78-0823) 山崎(79-8702)

☆重税反対上伊那地区集会
3月13日(金) 受付 午前8:30~
開会 午前9:00~
J A上伊那本所フラワーパレス3階
持ち物 申告書類・印鑑・筆記用具他
主催 上伊那民主商工会

風物詩



小学生が太鼓を叩いて集落内を歩き、祭りがあることを知らせます



参加者は参拝し焚き火を囲んで豚汁とお神酒で歓談します

道祖神祭り (手良)

手良中坪の郷之坪、米垣外、境集落では毎年春のきざしを感じる2月7日の夕方「道祖神祭り」を行う。道祖神碑は集落のはずれや辻にあって村へ悪霊が入ることを防ぐとともに村人や旅人を守る神とも考えられている。

☆「脱原発」いな金行動
毎週金曜日午後6時~6時半
いなっせ北側広場
主催 さよなら原発上伊那の会
連絡先 医療生協組合員センター
(79-8702)